

第5章 調査結果のまとめ

(1) 住民及び職員からみた町の「現状」について (大山崎町の暮らしに対する評価)

【住みよさ、愛着】

- 「住みよい」と60.2%の住民が評価（「住みよい」24.9%+「どちらかといえば住みよい」35.3%）。前回調査から「住みよい」と答えた人は増えている。
- 小学6年生・中学生は85.9%が「住みよい」と評価（「住みよい」40.4%+「どちらかといえば住みよい」45.5%）。
- 「愛着がある」と79.5%の住民が評価（「大いに愛着」31.9%+「多少愛着」47.6%）。

【定住意向】

- 「町内に住み続けたい」と62.2%の住民が評価（「現在と同じ場所か近く」57.2%+「町内のどこか」5.0%）。小学6年生・中学生は27.7%が「町内に住み続けたい」と評価（「現在と同じ場所か近く」16.4%+「町内のどこか」11.3%）。「町外」が34.9%、「わからない」が35.4%。
- 住民の住み続けたい理由は、「住み慣れて愛着がある」が59.3%、「自然環境がよい」が37.1%で高い。
- 住民で町外に移りたい人（16.7%）理由は、「買い物など生活に不便」が65.0%、「公共施設が整っていない」が26.2%で高い。

【町の魅力・よい（好きな）ところ】

- 町の魅力・よいところについて住民は、「緑が多く、自然に恵まれている」が72.5%、「京都市・大阪市への交通の便が良い」が65.4%と半数を超えて高い。3番目に「交通事故や犯罪、災害が少なさ」が23.1%と続いている。
- 小学6年生・中学生が好きなところは、「緑が多く自然に恵まれている」が67.5%と半数を超えている。次いで「京都市・大阪市への交通の便が良い」が37.2%、「交通事故や犯罪、災害が少なさ」が27.3%と続いている。

【町のよくない（好きでない）ところ】

- 町のよくないところについて住民は、「商店等が少なく買い物や暮らしに不便」が67.3%と半数を超えている。次いで「必要な医療を受けにくい」が33.2%、「町内や周辺に職場が少ない」が19.7%と続いている。
- 小学6年生・中学生が好きでないところは、「商店等が少なく買い物や暮らしに不便」が66.5%と半数を超えている。次いで「娯楽やレジャー施設・機会が充実していない」が25.3%、「公園や遊び場が整備されていない」が18.6%と続いている。

【分野別の満足度・重要度】

○まちづくりの分野別の満足度×重要度の分析によれば、相対的に取り組みの優先度が高い分野は、以下の8つ。

	満足度	重要度
(9) 生活用道路の安全・快適さ	-0.45	1.40
(10) 歩道の段差・安全さ	-0.70	1.46
(11) 買物の便利さ	-1.10	1.36
(12) 医療機関への交通の便利さ	-0.75	1.36
(13) 小中学校通学路の安全・快適さ	-0.46	1.44
(14) 交通の安全性	-0.35	1.41
(21) 高齢者や障がい者に配慮した環境	-0.20	1.44
(34) 行政サービスの利用の便利さ	-0.28	1.30

【町職員による暮らしやすさの評価】

○町職員による町の暮らしやすさに対して肯定的評価をする割合（「とてもよい」＋「よい」の計）は、暮らし全般（55.8%）、子育てをするまち（73.3%）、仕事・商売をするまち（47.5%）、観光・旅行で訪れるまち（48.3%）、退職後に暮らすまち（44.2%）と、子育てをするまちとしての評価が特に高い。

（２）住民及び職員が考える町の「将来」について（これからのこと）

【町の将来像】

○住民は、「自然」が 55.4%と半数を超えて高く、次いで「健康」（41.5%）、「福祉」（30.2%）、「防災」（27.3%）、「子育て」（22.6%）と続いている。

○小学6年生・中学生は、「自然」が 50.5%と半数を超えて高く、次いで「交通安全・防犯」（24.6%）、「ふるさと」（23.0%）、「防災」（22.8%）、「都市環境」（22.2%）と続いている。

○住民、小学6年生・中学生ともに自然豊かなまちを望んでいる。

住民及び小学6年生・中学生が考える町の将来像（上位5件）

	住民		小学6年生・中学生	
	項目	%	項目	%
1位	山・緑と川・水に囲まれた自然の豊かなまち【自然】	55.4%	山・緑と川・水に囲まれた自然の豊かなまち【自然】	50.5%
2位	医療や保険が充実して健康でいきいきと暮らせるまち【健康】	41.5%	交通事故や犯罪が少ないまち【交通安全・防犯】	24.6%
3位	高齢者や障がい者への福祉が充実したまち【福祉】	30.2%	地域のお祭りやイベントなどが盛んなまち【ふるさと】	23.0%
4位	地震や台風、洪水などの災害に強いまち【防災】	27.3%	地震や台風、洪水などの災害に強いまち【防災】	22.8%
5位	保育園や小・中学校などが整備された、子どもを育てやすいまち【子育て】	22.6%	きれいな街並みが整ったまち【都市環境】	22.2%

○町職員は、町の将来像について、「現在のままでよい」が 60.8%で半数を超えているが、「一部変えたほうがよい」という回答も 31.7%みられる。

【行政サービスのあり方と住民負担】

- 住民サービスの水準について、住民は「維持」が58.7%、「拡大」が18.0%、「縮小」が12.8%。
- 行政サービスの水準について、職員は「維持」が58.3%、「拡大」が9.2%、「縮小」が22.5%。住民、職員ともに現状維持と考える人が多い。
- 住民負担に対する考え方について、住民と町職員の意識は、「住民の金銭的な負担はそのまま」は、住民が33.0%、職員が27.8%と、ほぼ同程度。
 - 「住民の金銭的な負担を小さくする」は、住民が26.0%、職員が4.6%と、住民と職員の意識に差が生じている。
 - 「住民が行政サービスの一部を担い、住民の金銭的な負担はそのまま」は、住民が17.8%、職員が38.0%と、住民と職員の意識に差が生じている。
 - 「住民が行政サービスの一部を担い、住民の金銭的な負担は小さく」は、住民が15.6%、職員が13.9%と、ほぼ同程度。